

年 組

番 氏名

目標

「枕草子」(第一段)の現代語訳を確認し、内容を理解しよう。

◎現代語訳を確認しよう。

- ー線部の現代語訳を書き込もう。
- ○の現代語訳を書き込もう。
- ◀には、助詞を補おう。
- ▶に省略されている古語を補おう。

春

春はあけぼの。 ちうちう

白くなりゆく山ぎは、すこ

しあかりて、紫だちたる雲

◎のほそくたなびきたる。

年 組 番 氏名

◎現代語訳を確認しよう。

夏

夏は夜。月のころはさら

なり、闇もなほ、**蛍**の多く

飛びちがひたる。また、た

だ一つ二つなど、ほのかに

うち光りて行くもをかし。

雨など降るもをかし。

年

組

番

氏名

◎現代語訳を確認しよう。

秋

秋は夕暮れ。夕日のさし

て山の端いと近うなりたる

に、鳥の寝どころへ行くと

て、三つ四つ、二つ三つな

ど、飛びいそぐさへあはれ

なり。まいて雁などのつら

ねたるが、いと小さく見ゆ

るはいとをかし。日入り果

てて、風の音、虫の音など

はた言ふべきにあらず。

年

組

番

氏名

◎現代語訳を確認しよう。

冬

冬はつとめて。雪の降り

たるは言ふべきにもあらず、

霜のいと白きも、またさら

でもいと寒きに、火などい

そぎおこして、炭もて渡る

もいとつきづきし。昼にな

りて、ぬるくゆるびもてい

けば、火桶の火も白き灰が

ちになりてわろし。